

調査1 精度管理指標の把握状況に関する調査

【回答時の注意事項】

- ・平成28年度に実施された内容(実績)に基づき、全ての項目にご回答ください。
回答期間内に実施した場合は○、平成29年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答してください。
- ・全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合にのみ○とご回答ください。本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します。
- ・対象年度の検診を実施していない場合は、ご回答は不要です。また【通信欄】にその旨をご記入ください。

【本調査の対象年度について】

平成28年度に把握可能な最新年度を想定し、下記の年度を指定しています。

- ・平成28年度の検診対象者
- ・平成26年度の検診のプロセス指標※

※一部の都道府県では、地域保健・健康増進事業報告の公表データ(平成25年度)や、1年前(平成27年度)のデータを集計・分析対象としている場合もあることから、貴都道府県の方針で平成25年度、あるいは平成27年度のデータを把握・集計している場合も例外的に可とします。

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください。

1. 受診者の把握	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする										
(1) 平成28年度の対象者数(推計を含む)を把握しましたか (胃がん検診では、胃部内視鏡/胃エックス線検査両方の対象者数を把握した場合のみ○とする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 平成26年度を受診者数を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-1) 平成26年度を受診者数(率)を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-2) 平成26年度を受診者数(率)を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-3) 平成26年度を受診者数を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-4) 平成26年度を受診者数を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2. 要精検率の把握	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする										
(1) 平成26年度の要精検率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 平成26年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2) 平成26年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3) 平成26年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-4) 平成26年度の要精検率を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3. 精検受診率の把握	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする										
(1) 平成26年度の精検受診率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 平成26年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2) 平成26年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3) 平成26年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-4) 平成26年度の精検受診率を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(2) 平成26年度の精検未把握率を把握しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
解説：未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び(精検受診したとしても)精検結果が正確に分からないもの全て										

4. 精密検査結果の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成26年度のがん発見率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 平成26年度のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2) 平成26年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3) 平成26年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-4) 平成26年度のがん発見率を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-5) 平成26年度のがん発見率を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	○	○	△	△
(2) 平成26年度の原発がんに対する早期がん割合を把握しましたか 解説：肺がんでは、臨床病期Ⅰ期がん割合、乳がんでは臨床病期Ⅰ期までのがん割合	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
(2-1) 平成26年度の早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
(2-2) 平成26年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
(2-3) 平成26年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△
(2-4) 平成26年度の早期がん割合を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(2-5) 平成26年度の早期がん割合を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	○	○	△	△
(3) 平成26年度の粘膜内がん（胃がん、大腸がん）・非浸潤がん（乳がん）を区別しましたか	×	×	×	×	△	△	×	×	△	△
(4) （子宮頸がん検診）平成26年度の上皮内病変（CINなど）数を区分毎に集計しましたか 解説：病変は①～④の区分毎に分けて集計すること ① CIN3または上皮内腺がん(AIS)の数 ② CIN2の数 ③ CIN1の数 ④ 腺異形成の数	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
(4-1) （子宮頸がん検診）平成26年度の上皮内病変（CINなど）数を年齢階級別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
(4-2) （子宮頸がん検診）平成26年度の上皮内病変（CINなど）数を市区町村別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
(4-3) （子宮頸がん検診）平成26年度の上皮内病変（CINなど）数を検診機関別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(4-4) （子宮頸がん検診）平成26年度の上皮内病変（CINなど）数を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(5) （子宮頸がん検診）平成26年度の発見がんに対する微小浸潤がん割合を把握しましたか 解説：微小浸潤がんは病期Ⅰa1及びⅠa2期のもの	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
(5-1) （子宮頸がん検診）平成26年度の微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
(5-2) （子宮頸がん検診）平成26年度の微小浸潤がん割合を市区町村別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
(5-3) （子宮頸がん検診）平成26年度の微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(5-4) （子宮頸がん検診）平成26年度の微小浸潤がん割合を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(6) 平成26年度の陽性反応適中度を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6-1) 平成26年度の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6-2) 平成26年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6-3) 平成26年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(6-4) 平成26年度の陽性反応適中度を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(6-5) 平成26年度の陽性反応適中度を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	○	○	△	△
(7) 平成26年度の発見がんについて追跡調査を実施しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(7-1) 平成26年度の発見がんの追跡所見・病理所見について把握しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(7-2) 平成26年度の発見がんの予後調査（生存率・死亡率の分析など）を実施しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
解説：この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である										

5. 偽陰性例（がん）の把握 検診の実施年度は問いません	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である					
(1) (受診者の追跡調査や地域がん登録等により) 検診受診後の偽陰性例を把握しましたか 解説： 検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがん(基本的には1年未満に発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年未満に発見された乳がん・子宮頸がん)	×	×	×	×	×
(2) 偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか	×	×	×	×	×
(3) 検診受診後1年以上経過してから発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された乳がん、子宮頸がんを把握しましたか 解説： 住民検診受診後、規定された次回の検診(基本的には、胃・大腸・肺がん検診は1年後、乳・子宮頸がん検診は2年後)を受けずに、検診以外で発見されたがん	×	×	×	×	×

6. 不利益の調査 検診の実施年度は問いません	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下4項目は次のような方法によって把握が可能である ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計している ・ <input type="checkbox"/> 主要な医療機関(検診や、精密検査を担当する機関)に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書 ^{注2)} を送付し、その後報告されたものを集計している					
(1) 検診受診後6ヶ月(1年)以内の死亡者を把握しましたか 解説： 検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除く	○	○	○	○	○
(2) 精密検査による偶発症を把握しましたか	○	○	○	○	○
(2-1) 消化管穿孔例(胃がん)、腸管穿孔例(大腸がん)、精密検査に伴う気胸や感染症(肺がん)、治療が必要な中等度以上の出血例(乳がん・子宮頸がん)を把握しましたか	○	○	○	○	○
(2-2) その他の重要な偶発症を把握しましたか 解説： 入院治療を要するもの(例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎(胃がん、大腸がん)、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血(肺がん)、検査後の骨髄内感染症(子宮頸がん)、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症(乳がん)等)	○	○	○	○	○

注1) 初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別：初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者(胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)、前年に受診歴がない者(肺がん)
注2) 依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」<http://nxc.jp/nccscr-commu/>に掲載しています

続けて、次のワークシート「調査2 事業評価の実施状況に関する調査」にご回答ください。